

ルクセンブルク経済・金融情勢（2020年5月）

1 統計関連

- 2020年5月のインフレ率は年率0.19%（前月0.62%）（6月8日付統計局プレスリリース）
- 2020年5月の失業率は7.0%（前月7.0%，前年同月5.4%）（6月20日付統計局及び職業安定所プレスリリース）
- 2019年末の当国の不動産価格は前年同期比で11%増。1平方メートルあたりの価格の平均は6,057ユーロ。なお、不動産市場分析部門 (Observatoire de l' Habitat) によれば、当国の不動産価格がパンデミックにより下がることはないだろうとのこと。（5月4日付 Luxemburger Wort 紙）
- 欧州統計局 (Eurostat) によれば、2019年時点で、在宅勤務を活用していたのはルクセンブルクの労働人口の11.6%のみで、66.9%は在宅勤務を行っていない。ヨーロッパではフィンランドとオランダが在宅勤務率14.1%と最も高い。（5月7日付 Tageblatt 紙）
- Fondation Idea によれば、新型コロナウイルス感染症の経済的影響を最も受けたのはサービス業と商業であり、粗付加価値は90%減となった。建設業も90%減ではあったが、既に多くの発注を受けている。なお、当国経済全体の粗付加価値は25.8%減少しており、部分的失業者は135,000人である。（5月11日付 Le Quotidien 紙）
- 5月5日時点で、当国における、新型コロナウイルス感染症対策のための予備の臨時衛生部門従業員の登録者数は1,489人となっている。（5月12日付 RTL.lu 電子版）
- 当国エネルギー省によれば、新型コロナウイルス感染症対策としての外出規制（ロックダウン）により、当国の電気使用量は3分の1減少した。また、当国は4月時点の太陽光発電量が前年同月比で42%増となっているが、これは4月の日照時間が例年の平均以上であったこと、そして太陽光発電のキャパシティが増加したことを原因としている。（5月12日付 Luxemburger Wort 紙及び Le Quotidien 紙）
- 3月における当国の銀行業の総資産額は9,000億ユーロを超え、前年同月比で11.9%増加した。なお、1か月で590億ユーロ（+7%）増加した月もある。（5月13日付 Tageblatt 紙）
- 当国の証券取引所の2019年の収入は4850万ユーロと、1%増加し、純利益は1350万ユーロと、20%増加した。（5月15日付 Luxemburger Wort 紙）
- 5月15日にファイヨ経済相は、オンライン上で欧州経済大臣会合に参加した。同会合では、2020年の欧州経済が7.5%縮小する見込みであることが明らかにされた。ファイヨ経済相は、EU の復興計画（リカバリープラン）に持続可能な成長とデジタル経済を主軸に含めることを求めた。（5月16日付 Le Quotidien 紙）

2 政府等関連

- 新型コロナウイルス感染症対策のオンライン上の寄付金カンファレンスである、「Global Response」に対して、当国は新たに1,700万ユーロ寄付し、計5,700万ユーロを寄付した。同カンファレンスは、同感染症のワクチンと治療薬開発のスピードを上げることを目的としている。(5月5日付Luxemburger Wort紙及びLe Quotidien紙)
- ファイヨ経済相は、自身のツイッターアカウントにて、当国政府は部分的失業対策として579,221,620ユーロを支援しており、これによって15,084社の企業が援助を享受したことをツイートした。この支援金により、267,097人の従業員の給与の80%がまかなわれている。(5月7日付Le Quotidien紙)
- 当国宇宙機構は、ルクセンブルク大学の卒業生が就業経験を得られるようにと、欧州宇宙機構(ESA)にて、16人が12か月のトレーニングを受けるための合意を、ESAと結んだ。(5月15日付Luxemburger Wort紙)
- グラメーニャ財務相によれば、本年4月末時点で、当国政府は16億ユーロの赤字となっている。本年第1四半期(3月末)での国家財政の収入は前年比で0.8%減である一方で、支出は19.4%増となった。また、4月末時点では、前年比で収入が8.4%減、支出が28.5%増となっている。これは、2020年の国家予算と比べると、収入が12%減、支出が8%増となっている。(5月26日付RTL.lu電子版)

3 企業関連

- アルセロールミタル社によれば、第1四半期では11億米ドルの損失となった。同社は、第2四半期の損失は更に深刻となると見込んでいるが、建設業と製造業の業務再開に希望を見いだしている。(5月8日付Luxemburger Wort紙)
- SES社は、第1四半期は同社の予測に沿ったものとなり、SESネットワークの収入は増加した事を明らかにした。同社はあまり新型コロナウイルス感染症の影響を受けていないが、世界の経済情勢の不安定さから、投資額を削減する事で、自社を負のインパクトから守ることとした。(5月8日付Luxemburger Wort紙)
- アルセロールミタル社は、新規株式を最大で20億米ドル分相当発行する予定である。(5月12日付Luxemburger Wort紙)
- Paul Wurth社の2019年の収入は4億7,920万ユーロ、純利益は1,440万ユーロと、前年の1,410万ユーロより増加した。(5月13日付Luxemburger Wort紙、Tageblatt紙及びLe Quotidien紙)
- Luxair社の2019年の純利益は810万ユーロであり、前年の1,250万ユーロより減少した。(5月13日付Luxemburger Wort紙、Tageblatt紙及びLe Quotidien紙)
- Luxtrust社の収入は26%増加し、1,570万ユーロとなったこれは、業務内容の拡大と、フランスとドイツにおけるビジネス展開によるものである。(5月13日付

Luxemburger Wort 紙)

- Luxexpo the Box の 2019 年の収入は 753 万ユーロであったが、新型コロナウイルスにより、2020 年には 60% の稼働減を見込んでいる。なお、次の大型イベントは 10 月に開催される Home Expo の予定。(5 月 14 日付 Luxemburger Wort 紙及び Le Quotidien 紙)
- 当国エネルギー会社である ENCEVO 社の、2019 年の収入は 21 億ユーロと、前年比で 4.1% 増。また、純利益も 6,790 万ユーロにまで増加した。これは、同社のエネルギー発電量のうち、再生可能エネルギーによる発電量が増えたことにあり、2019 年と 2020 年で 13.9 メガワット相当の太陽光発電所を建設した。更に、今後 19.5 メガワット分の太陽光発電所の建設も計画している。(5 月 15 日付 Tageblatt 紙及び Le Quotidien 紙)
- アルセロールミタル社は、二酸化炭素排出量を削減した試験的な工場をベルギーで二カ所建てるために、EU より 7,500 万ユーロの融資を受けた。(5 月 19 日付 Luxemburger Wort 紙)
- ING ルクセンブルク社の 2019 年の収入は 3 億 2,100 万ユーロとなり、前年より 2% 増加した。利益は 1,600 万ユーロと、前年より減少した。(5 月 19 日付 Luxemburger Wort 紙)
- Goodyear 社と ENCEVO 社は合同のプレスカンファレンスで、Colmar-Berg のタイヤ製造工場の試運転場に、二つの太陽光発電所を設置することを決定した旨明らかにした。合計で 5 ギガワット相当の発電量となり、46.3 トンの二酸化炭素排出の削減が見込まれる。なお、これは 1,200 世帯の 20 年分のエネルギーをクリーンエネルギーでまかなうことができるようになるということである。(5 月 29 日付 Luxemburger Wort 紙、Tageblatt 紙及び Le Quotidien 紙)

※当国政府の公開資料や各種報道などの公開情報を取りまとめたもの。